

記者会見
5.2.20
資料 1

令和5年度（2023年度）当初予算案の概要

輝く「ふるさと秦野」の未来を切り開くため積極果敢に挑む予算

I	市政に臨む基本の方針	p. 1
II	各会計の予算規模	p. 2
III	一般会計	p. 3
IV	企業会計及び特別会計	p. 7
V	令和5年度の主な事業	p. 8



「水とみどりに育まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市（まち）」

秦野市

I 市政に臨む基本的方針

新型コロナウイルスの長期化に加え、ウクライナ危機や円安に起因するエネルギー・食料価格の高騰などの困難が、同時かつ複合的に押し寄せる中、引き続き、新型コロナウイルス対策や物価高騰対策は、何よりも最優先で取り組むべき課題であり、アフターコロナを見据えた中で、市民の命と暮らしや地域経済を守るための施策を適時適切に講じてまいります。

令和5年度は、“住んでみよう・住み続けよう” 秦野みらいづくりプロジェクトをさらに推し進めるため、市民が安心して子どもを産み、育てることができるよう、妊娠・出産から子どもたちが社会にはばたくまで、切れ目のない施策の充実・強化を図ります。また、他市にはない本市ならではの資源や魅力を生かした全国屈指の森林観光都市の実現に向け、優先的に取り組んでいる「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を一体的に進め、積極的な事業の展開を図るとともに、デジタル化やカーボンニュートラルなどの分野にも着実に対応していきます。

いつまでも“秦野は素晴らしいまち”と誇れるよう、市民一人ひとりの声を大切にしながら、市民力、地域力を発揮して、本市の都市像である『水とみどりに生まれ誰もが輝く暮らしよい都市(まち)』の実現を目指し、市政運営に取り組んでいきます。

《令和5年度 主な事業の項目一覧》

“住んでみよう・住み続けよう” 秦野みらいづくりプロジェクト

- (1) 健康で安心して暮らせるプロジェクト (P9)
- (2) 未来を拓く子育て・教育プロジェクト (P11)
- (3) 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト (P13)
- (4) 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト (P15)
- (5) 新たな日常創造プロジェクト (P17)
- (6) 横断プロジェクト：移住・定住活性化プロジェクト (P18)

総合計画前期基本計画に掲げた基本目標に沿った主な事業

- (1) 誰もが健康で支えあうまちづくり (P19)
- (2) 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり (P19)
- (3) 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり (P20)
- (4) 住みたく訪れたいにぎわい・活力あるまちづくり (P20)
- (5) 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり (P21)

Ⅱ 各会計の予算規模

一般会計、全会計の合計ともに過去最大

会 計 名	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
①一般会計	555億7000万円	528億7000万円	27億円	5.1
【地方公営企業会計】 ②水道事業会計	38億5000万円	37億4900万円	1億100万円	2.7
【地方公営企業会計】 ③公共下水道事業会計	55億3300万円	57億700万円	△1億7400万円	△3.0
④国民健康保険事業 特別会計	170億9600万円	173億2700万円	△2億3100万円	△1.3
⑤介護保険事業 特別会計	139億6800万円	136億400万円	3億6400万円	2.7
⑥後期高齢者医療事業 特別会計	28億5700万円	26億8600万円	1億7100万円	6.4
合 計	988億7400万円	959億4300万円	29億3100万円	3.1
企業会計合計(②、③)	93億8300万円	94億5600万円	△7300万円	△0.8
特別会計合計(④～⑥)	339億2100万円	336億1700万円	3億400万円	0.9

【過去5年の予算規模】

区 分	一般会計	企業会計	特別会計	合計
令和4年度	528億7000万円	94億5600万円	336億1700万円	959億4300万円
令和3年度	524億3000万円	84億7700万円	324億6900万円	933億7600万円
令和2年度	507億3000万円	91億3600万円	324億4900万円	923億1500万円
令和元年度	506億1000万円	97億4700万円	326億8000万円	930億3700万円
平成30年度	490億8000万円	92億4400万円	318億4500万円	901億6900万円

Ⅲ 一般会計

1 予算規模

令和5年度は、「輝くふるさと秦野の未来を切り開くため積極果敢に挑む予算」とし、一般会計の当初予算額は、令和4年度当初予算に比べて27億円増の555億7,000万円とし、過去最大の規模となります。

2 主な歳入

(1) 市税

市税全体では、令和4年度当初予算に比べて、5億円増の226億円となります。

主な増額要因としては、個人市民税について、宿泊業や飲食業など一定の業種で経済活動の正常化がみられ、また、情報通信機器等を扱う業種や運輸物流業など、コロナ禍においても業績を伸ばした業種があったことから、2億8,080万円の増としました。

また、固定資産税と都市計画税については、令和3年度に実施された負担調整措置の終了や、新築家屋が一定数見込めることなどから、それぞれ、1億1,880万円、3,420万円の増を見込みました。

【市税の状況】

区 分	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
個人市民税	91億9200万円	89億1120万円	2億8080万円	3.2
法人市民税	8億7200万円	8億3290万円	3910万円	4.7
固定資産税	95億5250万円	94億3370万円	1億1880万円	1.3
市たばこ税	10億2700万円	10億200万円	2500万円	2.5
都市計画税	15億9280万円	15億5860万円	3420万円	2.2
そ の 他	3億6370万円	3億6160万円	210万円	0.6
合 計	226億円	221億円	5億円	2.3

(注) 予算額は、現年課税分と滞納繰越分の合算額です。

【過去5年の市税予算額】

年度	当初予算額	前年度との比較	増減率 (%)
令和4年度	221億円	7億円	3.3
令和3年度	214億円	△15億1000万円	△6.6
令和2年度	229億1000万円	△1億9000万円	△0.8
令和元年度	231億円	3億8000万円	1.7
平成30年度	227億2000万円	△3億円	△1.3
平成20年度	258億2900万円	(過去最大予算)	

(2) 市税以外

標準的な行政サービスを実施するため、財源不足を補う普通交付税と、その代替財源である臨時財政対策債は、それぞれ、50億4,500万円（前年度比19.0%増）、5億5,800万円（同△60.4%減）で、合計で56億300万円（同△0.8%減）を見込みました。

市債については、前年度を上回る事業債を活用しますが、臨時財政対策債を含めた市債全体は、24億6,830万円（同△10.5%減）とし、プライマリーバランスは黒字としました。

財政調整基金については、前年度を大きく上回る18億2,673万円（同315.2%増）を活用しますが、令和5年度末の現在高は、目安としている30億円を確保できる見込みです。

【市税以外の状況】

区 分	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
普通交付税	50億4500万円	42億4000万円	8億500万円	19.0
市債発行額	24億6830万円	27億5700万円	△2億8870万円	△10.5
うち臨時財政対策債	5億5800万円	14億1000万円	△8億5200万円	△60.4
財政調整基金取崩し額	18億2674万円	4億4000万円	13億8674万円	315.2

【市債及び財政調整基金の残高見込み】

区 分	令和5年度末 残高見込み	令和4年度末 残高見込み	増 減	増減率 (%)
市 債	336億7961万円	354億2072万円	△17億4111万円	△4.9
うち臨時財政対策債	210億2038万円	233億2139万円	△23億101万円	△9.9
財政調整基金	32億7640万円	43億4823万円	△10億7183万円	△24.6

3 主な歳出

義務的経費のうち、人件費は、人事院勧告に基づく給料月額及び勤勉手当の支給率の引き上げなどにより増額します。扶助費は、生活保護世帯や障害児・者へのサービス利用者の増加を見込むとともに、小児医療助成事業を拡充することなどから、公債費は、令和3年度に借り入れた臨時財政対策債を繰上償還することからそれぞれ増額となります。

投資的経費（普通建設事業費）については、伊勢原市との共同消防指令センターの整備や秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業などの継続事業を引き続き進めるとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市庁舎等の照明設備のLED化を推進するなど、前年度当初予算に比べ、23.3パーセントの増となります。主な普通建設事業費は、次のとおりです

(1) 秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業	5億1,754万円
(2) 市庁舎等の照明設備のLED化	3億6,575万円
(3) 共同消防指令センターの整備	2億7,049万円

【款別経費比較表】

款	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
1 議会費	3億3585万1000円	3億4775万9000円	△1190万8000円	△3.4
2 総務費	55億7560万7000円	53億690万1000円	2億6870万6000円	5.1
3 民生費	256億6172万円	245億7657万2000円	10億8514万8000円	4.4
4 衛生費	45億6451万5000円	50億2443万3000円	△4億5991万8000円	△9.2
5 農林費	6億3664万9000円	6億37万9000円	3627万円	6.0
6 商工費	11億7592万5000円	10億378万3000円	1億7214万2000円	17.1
7 土木費	60億9669万9000円	60億389万7000円	9280万2000円	1.5
8 消防費	24億6181万2000円	23億402万1000円	1億5779万1000円	6.8
9 教育費	46億7473万8000円	41億3651万9000円	5億3821万9000円	13.0
10 公債費	42億8648万4000円	34億6573万6000円	8億2074万8000円	23.7
11 予備費	1億円	1億円	0円	0.0
合 計	555億7000万円	528億7000万円	27億円	5.1

【性質別経費比較表】

区 分		令和 5 年度当初予算額 (構成比)	令和 4 年度当初予算額 (構成比)	増 減 (増減率)
義務的経費	人件費	102 億 2502 万 5000 円 (18.4%)	100 億 2537 万円 (19.0%)	1 億 995 万 5000 円 (2.0%)
	扶助費	157 億 3946 万 4000 円 (28.3%)	155 億 9907 万 2000 円 (29.5%)	1 億 4039 万 2000 円 (0.9%)
	公債費	42 億 8648 万 4000 円 (7.7%)	34 億 6573 万 6000 円 (6.5%)	8 億 2074 万 8000 円 (23.7%)
	計	302 億 5097 万 3000 円 (54.4%)	290 億 9017 万 8000 円 (55.0%)	11 億 6079 万 5000 円 (4.0%)
投資的経費	普通建設 事業費	42 億 8814 万 8000 円 (7.7%)	34 億 7675 万 8000 円 (6.6%)	8 億 1139 万円 (23.3%)
その他の経費	物件費	90 億 4189 万 2000 円 (16.3%)	87 億 2672 万 7000 円 (16.5%)	3 億 1516 万 5000 円 (3.6%)
	維持補修費	2 億 9018 万 9000 円 (0.5%)	3 億 8148 万 4000 円 (0.7%)	△9129 万 5000 円 (△23.9%)
	補助費等	46 億 6643 万 3000 円 (8.4%)	46 億 5455 万 7000 円 (8.8%)	1187 万 6000 円 (0.3%)
	積立金	4 億 6797 万 2000 円 (0.9%)	4 億 6672 万 2000 円 (0.9%)	125 万円 (0.3%)
	貸付金	3 億 9963 万 3000 円 (0.7%)	3 億 2992 万 9000 円 (0.6%)	6970 万 4000 円 (21.1%)
	繰出金	60 億 6476 万円 (10.9%)	56 億 4364 万 5000 円 (10.7%)	4 億 2111 万 5000 円 (7.5%)
	予備費	1 億円 (0.2%)	1 億円 (0.2%)	0 円 (0.0%)
	計	210 億 3087 万 9000 円 (37.9%)	203 億 306 万 4000 円 (38.4%)	7 億 2781 万 5000 円 (3.6%)
合 計		555 億 7000 万円 (100.0%)	528 億 7000 万円 (100.0%)	27 億円 (5.1%)

IV 地方公営企業会計及び特別会計

1 地方公営企業会計

(1) 水道事業会計

水道事業収益は、人口減少等による水需要の減少傾向に変わりはありませんが、10月からの料金改定による増額を見込んでいます。支出面においては、エネルギー価格や物価の高騰による影響を受け、厳しい経営状況の中、水道施設の更新と耐震化を着実に進めていくため、動力費や取水場耐震化・更新事業費が増額となり、予算規模は、令和4年度当初予算に比べて2.7パーセントの増となりました。

(2) 公共下水道事業会計

下水道事業収益は、水道事業同様、使用料改定による増額を見込んでいます。支出面においては、基本的には水道事業と同様ですが、下水道施設の計画的な耐震化及び雨水の浸水対策を着実に進めていく中、浄水管理センターの機械棟再構築等工事委託の完了などにより、資本的支出が減額となり、予算規模は、令和4年度当初予算に比べて3.0パーセントの減となりました。

2 特別会計

(1) 国民健康保険事業特別会計

高齢化や医療の高度化等により、一人当たりの保険給付費の増加が見込まれるが、被保険者数は減少することから、予算額は、令和4年度当初予算に比べて1.3%の減額となりました。

(2) 介護保険事業特別会計

要介護認定者数及びサービス利用者数の増加により、保険給付費が増加することから、予算額は、令和4年度当初予算に比べて2.7%の増額となりました。

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となるため、予算額は、令和4年度当初予算に比べて6.4%の増額となりました。

V 令和5年度の主な取組み（◎は、新規又は拡充する取組み）

“住んでみよう・住み続けよう”

秦野みらいづくりプロジェクト「5つの誓い2022」

1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

■ (1) 水とみどりを育む取組みの推進

市民共有の財産である水とみどりを守り育て、生かすことにより、恵まれた自然環境と共生した秦野らしさのあるまちづくりを推進するため、市庁舎等の照明設備のLED化をはじめとした地球温暖化対策の取組みや、名水スポットを整備するなど、秦野名水の保全・利活用などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
PPAによる太陽光発電の導入	34,110		31,900		2,210
脱炭素コンソーシアムの開催	142				142
◎市庁舎等の照明設備のLED化	365,754		346,500		19,254
再生可能エネルギー由来の電力活用	1,575				1,575
電気自動車とハイブリット自動車の導入	2,607		2,200		407
◎バイオマス産業都市構想の策定	8,088				8,088
森山里山整備による二酸化炭素の吸収、固定化	16,472	14,345		269	1,858
◎名水復活宣言20周年記念事業	701			701	
◎名水スポットの整備	5,000			1,733	3,267

■ (2) 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進

人生100年時代を心身共に健康で安心して暮らせるよう、地域医療の充実・強化を図りながら健康長寿に向けた取組みを推進するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体化などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
フレイル予防や生活習慣病の重症化予防対策の強化	6,367				6,367
就労支援や買い物支援の拡充	44,528	34,009		5,726	4,793
◎ウォーキング等の生涯スポーツの普及促進	8,163			5,234	2,929

■ (3) 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進

誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らせるよう、地域おける人と人とのつながりを大切し、互いに助け合い、共に支えあうまちづくりを推進するため、医療的ケア児の支援体制の構築などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎地域共生支援センターを中心とした相談支援体制の充実	10,795	6,697			4,098
◎医療的ケア児の支援体制の構築	2,725	2,043			682
住居確保給付金等の生活困窮者等への支援	46,932	33,880			13,052

■ (4) 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしを実現させるため、市民、事業者、行政が一体となった地域力や都市の安全性を強化する取組みを推進するため、避難行動要支援者の迅速かつ円滑な避難の確保を図るシステム導入などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎避難行動要支援者システムの導入	11,627	7,751			3,876
備蓄体制の強化及び防災訓練の実施	18,394	2,125		2,000	14,269
室川の護岸整備、河川・水路の適切な維持管理	19,930		17,900		2,030
防犯カメラの効果的な配置	31,202				31,202

2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組めます。

■(1)安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進

周産期医療及び保健体制の整備・充実などにより、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進するため、新たに、産科有床診療所の施設整備等を支援する「産科有床診療所整備等支援事業」と、妊産婦の健診や出産時の移動を支援する「妊産婦へのタクシー利用助成事業」の創設などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎産科有床診療所の施設整備等への支援	100,000	50,000			50,000
◎妊産婦へのタクシー利用助成	2,925				2,925

■(2)秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進

結婚から育児までの切れ目のない支援により、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、0歳から中学3年生までを対象としている小児医療費の助成について、小学生以上に設けている所得制限の撤廃や対象学年を6年生まで拡大した放課後児童ホームの先行実施などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎結婚支援のためのセミナー及びマッチングイベントの開催	1,473	982		491	
◎小児医療費助成の所得制限撤廃	26,878				26,878
◎対象学年を6年生まで拡大した放課後児童ホームの先行実施	2,100	1,400			700

■ (3) 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進

子どもたちの新たな学びのスタイルを構築するとともに、次世代の教育を見据えた環境整備により、「はだのっ子」の確かな学力向上に向けた取組みを推進するため、上智大学と連携した小学校外国語支援事業や、旧大根幼稚園園舎を活用した「はだのE-Lab(イーラボ)」の開設などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎非認知能力に着目し、学力向上を図る「学びの基盤プロジェクト」の実施	5,180				5,180
寺子屋方式の放課後学習支援	1,702	610			1,092
◎上智大学と連携した小学校外国語支援	1,782				1,782
スクールサポートスタッフの効果的な配置	3,922				3,922
中学校部活動の地域移行に向けた取組み	4,316	944			3,372
生活困窮世帯の子どもへの学習支援	10,821	5,390			5,431
◎ほりかわ幼稚園のこども園化	17,867				17,867
◎「はだのE-Lab(イーラボ)」の開設	6,706				6,706

■ (4) 市民総ぐるみによる学校給食の推進

中学校給食の完全実施を契機とし、商業・農畜産業などの地場産業との連携による地産地消や地域に根ざした食育の推進により、市民総ぐるみによる学校給食の取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地産地消の推進を図る食材の調達	643,839			643,839	

3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるのにぎわい創造に取り組みます。

■ (1) 4駅周辺のにぎわい創造の推進

小田急線4駅周辺のにぎわい創造では、各駅の魅力ある地域資源や特色を生かし、活力あふれるのにぎわいを創造するため、駅周辺市街地における「歩いて楽しい、歩いて暮らせるまちづくり」と、駅と駅とを結ぶ観光拠点等の利活用を推進するため、「未来ビジョン」、「中心市街地活性化推進計画」の策定や電子地域通貨の導入に向けた取組み、秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅の3駅をつなぐ観光拠点となる弘法山公園の利活用方針の策定などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎「未来ビジョン」策定及びにぎわい創造に向けた「中心市街地活性化推進計画」策定の取組み	35,706	21,969			13,737
◎電子地域通貨の導入に向けた取組み	6,624	3,221			3,403
◎弘法山公園の利活用方針の策定	5,569	4,128			1,441

■ (2) 4 駅それぞれの地域特性を生かしたにぎわい創造の推進

組織横断的な連携を図り、ハード、ソフトの両面から、温泉、まちの中心地、文化財、表丹沢など、4駅それぞれの地域特性を生かしたにぎわいの創造を推進するため、「つるまき千の湯」の配湯を希望する旅館への配管整備や受湯設備の整備への支援、震生湖誕生100周年記念事業やその湖上に架かる太鼓橋の架け替えに向けた測量・地質調査・設計などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
県道 705 号と市道 25 号線の交差点の改良事業	19,270	2,300	3,100		13,870
◎大山と鶴巻温泉を結ぶバスの運行の期間の拡大	3,881	914			2,967
◎つるまき千の湯配湯用配管の整備及び受湯設備の整備への支援	56,643			54,643	2,000
◎震生湖誕生 100 周年記念事業の実施	2,181			29	2,152
◎震生湖太鼓橋架け替えに向けた測量・地質調査・設計	37,800		29,700		8,100
◎頭高山の森林及び散策道の整備	21,478	10,064			11,414

4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組みます。

■(1) 表丹沢魅力づくり構想の推進

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、関係人口や交流人口の増加と地域活性化を推進するため、蓑毛自然観察の森を含む緑水庵周辺の整備や「羽根森林資源活用拠点における土地利用構想(仮称)」の具現化に向けた検討などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎表丹沢の魅力を発信する取組み	13,958	3,240			10,718
◎表丹沢の体験コンテンツを担う人材の育成	2,500	1,250			1,250
◎緑水庵駐車場の拡充及び蓑毛自然観察の森の散策路整備	13,923	2,452		1,543	9,928
◎「羽根森林資源活用拠点における土地利用構想(仮称)」の具現化に向けた検討	27,649	13,335			14,314
表丹沢野外活動センターの指定管理者による運営	43,989			3,096	40,893
大倉高原のテントサイトの魅力を生かしたイベント	1,639			150	1,489
◎農家レストラン開設等への支援	1,150				1,150

■ (2) 地域特性を生かした企業誘致の推進

新市街地ゾーンにおいて、新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる企業誘致を推進するための土地利用などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
土地区画整理準備組合への技術支援（戸川地区）	4,048				4,048
市街化区域編入に向けた都市計画手続き（戸川地区）	812				812

■ (3) 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進

秦野丹沢スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高めるなど、新東名高速道路開通に伴う新たな人の流れを支えるネットワークの形成を推進するため、都市計画道路菩提横野線及び並行する矢坪沢の整備などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
菩提横野線の整備	90,700	29,800	48,300		12,600
矢坪沢の整備	61,140		49,800		11,340

5 新たな日常創造プロジェクト

新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3つの柱を守る対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、新たな日常の創造に取り組みます。

■(1) 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進

市民の生命と健康を守るため、秦野伊勢原医師会などの関係機関と連携し、迅速なワクチン接種等を実施できる万全の体制を継続します。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ワクチン接種体制の継続【補正予算】	360,344	360,344			
自宅療養者等への支援	2,453				2,453

■(2) デジタル化の推進

あらゆる市役所業務での積極的なICTの活用により、スマート自治体への転換やデジタル化を推進するため、手続きのオンライン化や窓口対応のデジタル化など、はだのICT活用推進計画に基づく各種取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎Web口座振替受付サービスの導入	8,558	858			7,700
◎GISによる地図情報公開等の環境整備	108,207	46,011			62,196
◎窓口における手数料等のキャッシュレス決済の導入	2,780			2,079	701
マイナンバーカードの普及促進	89,204	88,706			498
◎自治会のICT化に向けた支援	800				800

横断プロジェクト「移住・定住プロジェクト」

「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「移住・定住活性化プロジェクト」を進めることで、「関係人口」を創出・拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

■(1) 移住・定住人口の増加につなげる取組みの推進

「関係人口」を創出・拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげるため、若者世代等の住宅購入費の一部を補助するはだの丹沢ライフ応援事業やミライエ秦野を活用した新たな移住お試し住宅の開設などの取組みを進めます。

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
はだの丹沢ライフ応援事業	84,000				84,000
空家の適正管理及び活用の促進	9,033				9,033
◎ミライエ秦野での移住お試し住宅の開設	1,429			300	1,129
秦野産ジビエの普及促進	755				755
桜並木の健全育成によるまちの魅力向上	35,198			35,198	

総合計画前期基本計画（令和3年度～令和7年度） 5つの「基本目標」

※ 秦野みらいプロジェクトの取組みを除く

目標1 誰もが健康で共に支えあうまちづくり

【健康・福祉・子育て】

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
「健康はだの21」の改定	244				244
「はだの自殺対策計画」の改定	216	107			109
民間保育所等の施設整備及び ICT 環境整備への支援	52,985	35,724			17,261

目標2 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり

【教育・生涯学習・文化芸術・平和・スポーツ】

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎統合型校務支援システムの導入	100,782	17,662			83,120
渋沢中学校急斜面地の整備【補正予算】	110,000	41,878	68,100		22
西幼稚園園舎の屋上の防水工事	13,050		12,200		850
クアーズテック秦野カルチャーオール特定天井等の大規模改修へ向けた実施設計	79,137	26,379	52,200		558
平和意識の普及・啓発	1,314				1,314
◎全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催	1,000				1,000
中栄信金スタジアム秦野のグラウンドの改修等	18,310			18,310	
◎前田夕暮生誕140周年記念事業	1,776				1,776

目標3 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり
【環境・農業・林業・安全・安心・上下水道】

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
生ごみの減量及び分別徹底の推進	488,042			101,668	386,374
新規就農者等の経営基盤強化への支援	26,974	26,400			574
各種鳥獣被害への総合的な対策の実施	22,971	5,765			17,206
◎災害対応ドローンの導入	5,500		5,500		
応急手当の知識・技術の普及促進	1,879	571		160	1,148
◎ひとり暮らし高齢者世帯等を対象とした火災警報器の給付	247			247	
秦野伊勢原共同消防指令センター(仮称)の整備	270,488	3,738	134,900	119,742	12,108
消防団施設の建替え等	80,410		75,500		4,910
高齢者向けの運転適性検査及び交通安全教室の実施	6,606				6,606
消費生活の支援、市民相談	21,113	2,646			18,467

目標4 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり
【都市整備・交通・観光振興・工業振興・商業振興・住環境】

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
乗合タクシー等の運行支援	11,592				11,592
「地域公共交通計画」の策定	6,255	1,300			4,955
◎中小企業に向けた脱炭素設備等導入促進資金融資制度の創設	76,000			76,000	

目標5 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり

【地域運営・行財政運営】

(単位：千円)

主な取組み	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
◎企業版ふるさと納税（人材派遣型制度）の活用	7,000			7,000	
◎各地区まちづくり委員会への支援の拡充	2,184				2,184
はだのふるさと大使などを活用したシティプロモーションの推進	21,301			912	20,389
◎パートナーシップ宣誓制度の導入	296				296
◎総合計画後期基本計画の策定に向けた調査・分析	7,199				7,199
◎市制施行 70 周年に向けた取組み	1,075				1,075